

2026年度 長崎浦上支部定時総会 式次第

2026年4月21日(火)サンプリエール

第1部 定時総会

18:00 開会(開会の辞)

司会者

1. スローガン唱和

司会者指名

2. 支部長挨拶

支部長 和田 栄代美

3. 定数確認

司会者

4. 議長選出

司会者

5. 議長登壇

6. 議事録作成人及び署名人選出

議長

7. 議事

第1号議案

① 2025年度 活動報告

支部長 和田 栄代美

② 2025年度 決算報告

総務委員長 西岡 潤二

③ 監査報告

監査役 吉川 裕也

第2号議案

① 2026年度 支部長選考 選考委員長 橋本 裕次郎

② 2026年度 支部役員選考

第3号議案

① 2026年度 活動方針(案) 新支部長 和田 栄代美

各委員会活動方針(案) 新各委員長

② 2026年度 予算(案) 新総務委員長 西岡 潤二

第4号議案 その他

8. 議長解任

9. 新任役員登壇・挨拶

司会者

18:50 閉会(閉会の辞)

司会者

休憩(10分)

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

2025 年度は「同友会活動を通じて自社の課題解決に取り組み、強い企業をつくる」という方針のもと、例会や委員会活動への参加促進、経営指針書作成の推進、企業変革支援プログラム Ver.2 登録の声かけを行ってきました。

自社の経営課題を持ち寄り、例会や委員会で率直に語り合うことで、単なる学びで終わらせず、自社実践につなげる姿勢が少しずつ広がってきたと感じています。

また、「会員同士の絆を深め、誇りを持てる支部づくり」に向けては、役員が積極的に会員へ声をかけ、参加しやすい雰囲気づくりを心がけました。会歴の浅い会員には同友会での学び方を丁寧伝え、会歴の長い会員には経験を共有いただく場づくりを意識しました。

一方で、参加率や返信率の向上、経営指針書作成の広がりについては、まだ課題も残っています。活動の意義をより具体的に伝え、一人ひとりが「自分ごと」として参加できる仕組みづくりが今後の課題です。

しかしながら、「元気で明るく何でも話せる支部」という目標については、支部内の対話が増え、雰囲気は確実に前進した一年であったと感じています。

2. 例会を振り返って(例:何を学び、どのような企業づくりに取り組んだのか、またその成果は)

2025 年度も各委員会が主体となり、例会を企画・運営しました。

それぞれの例会では、・自社経営体験報告・経営指針の重要性・人を生かす経営・仲間づくりの意義などをテーマに学びを深めました。

特に、同友会での学びを自社で実践し、その成果や課題を率直に報告していただいた例会は、参加者にとって大きな刺激となりました。学びを共有することで、「経営は一人で抱えるものではない」という空気が醸成され、支部としての一体感も高まりました。

例会づくりにおいては、単なる講演型ではなく、討論や意見交換の時間を意識的に設け、参加型の運営に努めました。

今後はさらに、例会参加が自社の業績向上や組織づくりにつながっているという実感を高められる内容づくりが必要だと感じています。

3. 支部活動・委員会活動(ここでは全体的に。詳細は委員会別に提出をお願いします。)

(本用紙 P3 使用)並びにイベント・行事 等を振り返って

三役会・役員会を定期的を開催し、支部運営の方向性を共有してきました。支部内連絡の迅速化については、告知方法の見直しを行い、返信率向上に向けた工夫を重ねました。まだ改善の余地はありますが、会員への情報伝達は以前よりスムーズになったと感じています。

委員会活動については、新設した活性化委員会と仲間づくり委員会が連携し、会員同士の交流機会を増やす取り組みを行いました。これにより、例会外でのつながりも生まれ、支部の結束強化につながりました。また、会歴の長い会員の退会を卒業ととらえ、卒業式を行いました。今後は OB 会へと発展させ、交流していきたいと思えます。

また、次期役員の育成も意識し、役員会へのオブザーバー参加や担当制の明確化など、役割を持ってもらう取り組みを行いました。

支部運営ガイドラインの見直しも進め、次年度へ引き継げる基盤づくりを進めることができました。

4. 地域との連携を振り返って(中小企業振興条例制定運動を中心に)

地域との連携については、行政や他支部との合同例会・行事を通して交流を深めました。

中小企業振興条例制定運動をはじめ、地域に根ざした中小企業として何ができるのかを討論する機会を持ち、同友会としての社会的役割を再認識する一年となりました。

今後はさらに、地域と共に成長する企業づくりを意識し、支部として主体的に関わっていきたいと考えています。

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

- ・2025 年度予算案の立案
- ・毎月の役員会、例会での事務支援及び費用決算処理
- ・例会運営のサポート(受付等)
- ・支部長招集のもと、毎月の役員会の開催案内の発信、またその役員会の進行
- ・支部長招集のもと、三役会の開催と進行の実施
- ・期末決算及び来期(2026 年度)予算の立案
- ・総務委員会活動において、事前準備を整えて三役会や役員会に臨むことができた。

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

【活動方針について】

- ・例会を通じて、同友会を見つめてもらえる例会づくりに貢献します。
→担当委員会の主体的な動きで、学びある例会ができた。
- ・会員の横のつながり縦のつながりを意識し、次に続く例会を考え実施します。
→担当委員会の創意工夫により、会員同士がつながるきっかけが増えた。
- ・新たな発見ができる例会を開催します。
→固定概念にとらわれず、知見を広げる例会ができた。

【具体的な活動について】

- ・例会への返信率の向上に取り組む。
→役員会にて未返信者への声かけ連絡の結果、平均 76%の返信率を達成。
- ・例会への出席率の向上に取り組む。
→返信率アップにともない、出席率も 31.2%を達成。
- ・web などを活用し情報を共有する。
→長崎浦上支部 HP やグループラインにて告知共有ができた。
- ・仲間づくり委員会と連携し取り組む。
→連携の結果、のべ 34 名のゲスト参加をいただいた。
- ・例会運営のサポートとスケジュールの管理。
→担当委員会の皆さんが例会運営に積極的に動いてくれた。
- ・例会委員会自身の例会出席率向上。
→検討の余地あり。

【活動計画について】

- ・返信率を向上させるため、会員への様々なアプローチをトライし、良いものは継続する。
→役員会での未返信者への声かけ連絡の効果が出た。
- ・出席率を向上させるため、迅速な情報公開や出席率を促すようなトライを行う。
→長崎浦上支部のグループラインを活用した。
- ・例会運営をスムーズに行うため、可能な限り効率化する。
→例会運営の流れを共有し、当日の役割分担がスムーズにできた。
- ・例会毎の振り返りを担当委員会と共有する。
→役員会にて振り返り、次回に活かした。

《2025年度 活動報告》

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

本年度は「出席率・返信率の向上」「女性会員の増強」「明るく元気な会づくり」を目標に活動を行いました。

委員会として、例会参加の声かけやゲスト参加の促進、会員フォローを継続的に実施し、支部の活性化に努めました。

① 例会出席率・返信率の向上の推進

② 女性会員の増強に努めた。

③ 仲間づくり・関係性の強化

- ・ゲスト参加の呼びかけ
- ・交流イベント企画

④

- ・例会ごとの出席声かけおよびゲスト打診
- ・委員会連携によるイベント参加促進
- ・理念・活動理解の機会づくり
- ・県委員会への参加
- ・フォロー体制の整備と共有
- ・声かけの習慣化により、例会参加への意識向上が見られた
- ・ゲスト参加の増加により入会につながる導線ができた
- ・出席率のさらなる向上には継続的な個別対応が必要
- ・紹介活動の仕組み化が不十分
- ・女性会員増強は継続的な取り組みが必要

《 2025年度 活動報告・方針》

経営労働委員会 中山 紀子 委員長

活動方針: (2025年度県・県委員会活動方針、同友会理念(今期議案書 P1)に則って)

- ・経営指針の成文化と実践を行うと共に、それに深く関わる労使見解の学び
- ・経営者の責任についての学び
- ・人を生かす経営4委員会での協力

具体的な活動: (何をするのか等)

- ・経営指針実践セミナーを受講の推進
- ・企業変革プログラムの個別の勉強会(Ver2 の浸透)

活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)

- ・役員会や例会時に、経営指針に関する PR
- ・経営指針に関する勉強会実施
- ・4委員会と連携し、経営者塾を開催する

2025 年度 活動報告

- ・5月の例会担当として、10年後のわたしというテーマで4名の方々に報告をして頂きました
魅力ある方々の報告で、盛況となりました
- ・経営指針セミナーに支部より参加者が3名おり、1年を通して参加して頂きました

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

■ 長崎浦上支部 1月例会を担当

報告テーマ:

「経営者が今こそ学びたい ドラッカーの人材活用戦略」

経営者にとって今必要な「人材活用」の視点を、ドラッカーの思想を通して学ぶ機会となりました。内容については「再度学びたい」「社内でも共有したい」といった声もいただき、学びの深さを実感する例会となりました。

一方で、参加者数の拡大という点では、さらなる工夫の余地があると感じています。

来期は広報の方法や案内のタイミングを見直し、より多くの会員に参加いただけるよう改善してまいります。

■ 2月 第3回 次世代リーダーズカレッジにて報告

次世代リーダーズカレッジは、「何のために働くのか」「責任とは何か」「リーダーシップとは何か」といった根本的なテーマを、これから会社を担う社員と経営者が共に学ぶ場です。

単なるスキル習得ではなく、互いの「人間力」を高め合う学びとして開催されています

今後は、さらに広報を強化し、多くの企業・社員の皆様に参加いただけるよう努めてまいります。

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

活動内容

- ・県ダイバーシティ委員会が実施したアンケートの支部内でのとりまとめ
- ・支部会員への特別支援学校の実習受け入れの呼びかけ
- ・実習受け入れ企業への実習見学会の実施
- ・児童養護施設に関するアンケートを実施して、その結果を長崎市内の3つの施設に共有
- ・支部担当例会の開催(3月)

成果

- ・浦上養育院の秋祭り参加という形で児童養護施設との交流を行うことができた。
- ・児童養護施設に関するアンケートを長崎市内の3つの施設にお渡しできたので、来年度以降の職場体験や職場見学につながる可能性ができた。
- ・昨年度に続き、児童養護施設をテーマとした例会を開催出来た。会員の皆様に児童養護施設のことをさらに知っていただくことが出来た。

反省

- ・アンケートに回答して下さった企業の方にもう一步呼びかけをすれば良かった。
- ・特別支援学校の実習受け入れが浦上支部で無かった。
- ・昨年度出島支部と連携して行っていた、長崎市内の特別支援学校との交流が途切れた。
- ・児童養護施設に関するアンケート結果を施設にお渡しするのが遅れたので、今年度中に職場体験等を実現することが出来なかった。

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

今期より、共同求人委員会から名称を改め、産学イノベーション委員会として活動をスタート。地域に「若者」が溢れ、「人」「企業」「地域」が共に輝く未来を創造する！をスローガンとして、若者と積極的な交流を図るため、県内各大学以外にも、長崎県内の各高校を回り、ご説明をさせて頂いた。

長崎浦上支部の会員にも、下記の活動に賛同していただき、参加していただいた。

【活水高校】

・一日職場体験を2回開催(10月28日:22社、2月5日:14社)

対象:活水高校2年生58名

・体験後の生徒によるプレゼン報告会に参加(11月・2月)

【玉成高校・付属中等部】座談会を開催

テーマ:「長崎の若者がどのようなことを考えているのか」「働くとは何か」

「どうすれば若者から選ばれる企業になるのか」

【長崎大学・鎮西学院大学・総合科学大学】

・山口晴信先生の授業に同友会会員企業が登壇し、プレゼンを行った。

・会員企業のプレゼンを聞いた学生が、後日改めてプレゼンを行い、会員企業が拝聴し意見を交わすなど、双方向の授業に取り組んだ。

・少人数での座談会を開催。

《良かった点》

働くとは、長崎県で働くことの意義、起業すること、中小企業の良い点など、中学・高校・大学のレベルに合わせて、様々な試みを行えたこと

《反省点・改善点》

今後もたくさんの会員に参加してもらいたい。そのためには、

・「地域貢献」の為だけのボランティアとしてではなく、

・「社員教育」「社内における理念の浸透」「人材の確保」「会社のアピール」など、会員企業にもメリットがあることをわかりやすく伝えることように改善する

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

今年度は7月例会開催に向けて、4月より準備をスタートしました。報告者が昨年度と一昨年度は、連続して長崎市長でしたので今年度は、趣向を変えてみたいという思いが副委員長と一致しましたので、長崎大学経済学部の山口純哉准教授に報告して頂く方向で当初は支部単独で準備を進めておりましたが、出島支部政策委員会にも賛同頂き今回も合同例会を開催する事になりました。開催に向けて3回の両支部合同ミーティングを行いました。2回目のミーティングには、山口純哉准教授にも参加頂き、報告内容についての同友会側からの意見要望も反映された素晴らしい内容の報告をして頂く事が出来ました。例会には、合計104名参加頂き、そのうちの7名は長崎大学経済学部の学生にも参加して頂きました。大学生と中小企業の経営者の交流が出来、グループディスカッションでは、各グループで活発な意見交換が展開され、経営者が刺激を受ける大変有意義な例会になりました。

8月以降は、県政策委員会の経営環境改善アンケート実施に向けての準備、支部役員会、例会でのアンケート協力依頼の活動を行いました。アンケート調査結果を受けての内容の深掘り及び行政への意見交換会へ繋げていく為の準備が十分に出来ておりませんので、次年度の継続的な課題として引き続き活動していきたいと思えます。

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

- 各例会の写真撮影で記録を残した
- 情報を表明するインフラがまだ間に合っておらず、来期の目標としたい。
- 若い世代や未会員さんに対するアピールを広報を通じて継続していきたい。

1. この1年の成果と反省(活動方針に照らし合わせて)

2025 年度は、担当委員会の第 6 次ビジョンの進捗状況等の確認を行う予定でしたが、あまり委員会に参加できず、状況を把握できていない事が反省点となります。第 6 次ビジョンの検証活動では、各委員長のビジョンに対する進捗状況を説明いただくなかで、厳しめの自己評価をされている委員会が多く、それだけ真剣に取り組まれて活動に従事されているという事が伝わってきました。

その他の活動についても、2025 年度はあまり成果の出せていない結果となりましたので、来期は今期出来なかった分、委員会活動にも注力していきたいと思えます。

長崎県中小企業家同友会
長崎浦上支部
2025年度 収支報告書
自:2025年 4月 1日
至:2026年 3月31日

行	勘定科目	予算		25年度実績		差額
		収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	
①	前期繰越金	1,280,077		1,280,077	0	0
②	支部運営費	1,380,000		1,380,000	80,000	0
③	預金利息			2,913	0	2,913
④	役員会費		250,000		155,000	95,000
⑤	三役会費		50,000		6,500	43,500
⑥	例会費		750,000		481,183	268,817
⑦	例会委員会費		50,000		0	50,000
⑧	仲間づくり委員会費		100,000		43,250	56,750
⑨	経営労働委員会費		50,000		36,710	13,290
⑩	共育委員会費		50,000		29,000	21,000
⑪	共同求人委員会		50,000		5,500	44,500
⑫	総務委員会費	80000	30,000	80,000	25,000	5,000
⑬	政策委員会費		50,000		38,501	11,499
⑭	ビジョン委員会費		50,000		3,000	47,000
⑮	ダイバーシティ委員会費		50,000		39,000	11,000
⑯	情報広報委員会費		50,000		50,500	△ 500
⑰	4委員会費		50,000		35,000	15,000
⑱	2委員会費		50,000		0	50,000
⑲	活性化委員会		30,000		20,330	9,670
⑳	経営フォーラム準備委員会		30,000		5,000	25,000
㉑	全国大会参加補助費		150,000		65,000	85,000
㉒	経営フォーラム参加補助費		81,000		93,000	△ 12,000
㉓	支部総会費		150,000		120,000	30,000
㉔	慶祝例会費		250,000		250,000	0
㉕	12月例会費		150,000		97,270	52,730
㉖	慶弔費		50,000		35,000	15,000
㉗	雑収入			49,125		49,125
㉘	予備費		100,000		0	100,000
㉙	雑費		30,000		25,807	4,193
㉚	次期繰越金		39,077		1,052,564	△ 1,013,487
	合計	2,740,077	2,740,077	2,792,115	2,792,115	

財産目録

普通預金	十八銀行道ノ尾支店	普通預金	1,052,564 円
未払金	長崎同友会事務局	(Zoom 年間使用料)	27,032 円

監査報告書

長崎県中小企業家同友会

長崎浦上支部 支部長 和田 栄代美 殿

私、監査役は 2025 年度財産目録及び収支報告書の監査を遂げたところ、法令及び会則に適合し、かつ正確であることを認めましたので、この旨ご報告いたします。

2026 年 4 月 3 日

監査役

吉川 裕也



2026年度 支部役員一覧・委員会構成表

支部名： 長崎浦上支部

役職	氏名	氏名	氏名	氏名
支部長	和田 栄代美			
副支部長	筆頭 山口 善也			
	飛田 精一	山崎 晃	齊藤 誠史	北川 亮
相談役	小川 悟	西村 浩文	吉澤 健	大城 あゆみ
監査役	吉川 裕也			
フォーラム実行委員長	橋本 裕次郎			

※支部で委員会を構成しない場合も、県委員会（総務除）の委員2名程度を選任願います。

委員会名・主な活動内容	氏名	氏名	氏名	氏名
総務委員会 <small>収支・財務管理 支部活動のとりまとめ</small>	委員長-西岡潤二	副委員長-斉藤明子	委員-永池 泰典	委員-西浦 友也
	委員-松尾 友平	委員-山口 哲也	委員-山口 芳和	委員-吉川 裕也
	委員-吉田 國廣			
例会委員会 <small>例会のさらなる充実化 全国大会の参加促進</small>	委員長-飛田 精一	副委員長-甲斐 亮	副委員長-座木 直	副委員長-中村 大介
	委員-秋月 徹雄	委員-大久保 誠	委員-川野 知己	委員-宮地 昌二
仲間づくり委員会 <small>仲間づくりと 入会後のフォロー</small>	委員長-真崎 今日子	副委員長-近藤 千里	副委員長-濱崎 一成	委員-岩崎 裕一郎
	委員-尾崎 優一	委員-古賀 勇喜	委員-竹松 健治	委員-松尾 康史
	委員-松田 英裕	委員-山本 修平	委員-金子 勇造	
経営労働委員会 <small>労使見解・ 経営指針づくり活動・ 企業変革支援PG Ver. 2の推進</small>	委員長-中山 紀子	副委員長-大坪 孝聡	副委員長-青山 真一郎	委員-内田 小太郎
	委員-田端 正成	委員-西村 和芳	委員-福嶋 健吾	委員-古立 賢司
	委員-前田 富彌	委員-森川 大輔	委員-若杉 秀彦	
共育委員会 <small>人間尊重の理念に立った 創造的な社員教育の 定着のための活動</small>	委員長-岩 素子	副委員長-斉藤 明子	副委員長-高木 智代	委員-伊東 祐二郎
	委員-穎川 正浩	委員-岡村 雅彦	委員-栗崎 貴子	委員-辻原 隆
	委員-森田 修一	委員-和田 真太郎		
ダイバーシティ委員会 <small>高齢者・女性・障がい者・外国人等 多様な人材を生かす企業づくりの研 究・推進</small>	委員長-北川 亮	副委員長-仰木 真樹	委員-梶原 由美	委員-天田 佳代子
	委員-大峰 史子	委員-古里 久則	委員-星永 瑞輝	委員-三宅 雅章
	委員-横山 慎介			
産学イノベーション委員会 <small>若者を地域に残す、また若者をはじ めとした関係先に向けて地域で頑張 る中小企業を広める活動</small>	委員長-齊藤 誠史	副委員長-高尾 奈央	副委員長-藤原 柱	委員-片岡 雅英
	委員-池田 義徳	委員-出口 隆三	委員-川口 圭典	委員-植木 博路
	委員-中尾 陽一郎	委員-矢口 真		
政策委員会 <small>中小企業振興基本条例の 研究・推進と経営環境 改善のための政策活動</small>	委員長-笹垣 和也	副委員長-浜本 義文	副委員長-川内 まゆみ	副委員長-鈴木 博
	委員-池田 繁隆	委員-伊藤 浩義	委員-大石 優	委員-狩野 良太
	委員-浜口 宏	委員-福富 忠信	委員-山中 ひとみ	
情報広報委員会 <small>情報発信・広報活動 e. doyuの活用推進等</small>	委員長-野口 博子	副委員長-石川 宏子	副委員長-橋本 剛	副委員長-真藤 一樹
	委員-小林 宏平	委員-一ノ瀬 卓	委員-久保 弘一	委員-小林 長利
ビジョン委員会 <small>ビジョンの推進・検証・策 定</small>	委員長-山崎 晃	副委員長-平野 圭司	委員-小川 久郎	委員-池本 淳一
	委員-笹田 健一	委員-西本 俊昭	委員-野口 千恵子	委員-松尾 猛敏
活性化委員会委員会 <small>支部活動の活性化</small>	委員長-西山 展司	副委員長-松村 拓哉	委員-川口 義己	委員-池本 淳一
	委員-川野 律子	委員-中村 貢一	委員-林 昭彦	委員-飛田 政光
	委員-町田 貴代人	委員-松尾 照美		

《2026年度 活動方針》

長崎浦上支部長 和田 栄代美

活動方針: (2026年度県・県委員会活動方針(後日提示があります)、同友会理念(今期議案書P1)に則って)

2026年度は、「温故知新」を受けて、“ウラカミソウル”で学びを実践へ、実践を成果へつなげる一年にとする。同友会の歴史や理念と先輩に学び(温故)、その学びを現代の経営課題に活かす(知新)、自社の変革へと結びつけていきます。

ウラカミソウルとは、
・本音で語り合える関係性
・元気で明るく前向きな風土
・仲間を本気で応援する姿勢
・困ったときに支え合う結束力

具体的な活動: (何をするのか等)

- ・例会、各委員会活動、同友会開催行事への参加促進と返信率向上。
- ・経営指針書作成ならびに企業変革支援プログラム Ver.2 登録推進
- ・委員会活動の活性化、次期役員の育成。
 - ・魅力ある例会づくりをするため、同友会で学んだことを実践して成長を体感した会員の報告。
- ・支部全会員内でのスピーディーな告知連絡方法の強化。
- ・前年度よりの引き続き、支部運営のガイドライン作成と見直し。
- ・活性化委員会・仲間づくり委員会と連携し会員同士の交流を深め結束を固める。
- ・経営フォーラムへ向けて支部会員全員が役割を担う運営体制。

活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)

「三役会」

月一回開催 (支部長判断により随時)

責任者: 支部長 出席者: 支部長、副支部長、総務委員長、副総務委員長

内容 : 理事会の決議事項、協議事項を精査、

「役員会」

月一回開催

責任者: 支部長、総務委員長 出席者: 支部役員、県役員 会員のオブザーバー出席も可

内容 : 三役会で精査した内容を報告。委員会活動報告 仲間づくり及び活性化について 支部の方向性を協議 役員の情報意見交換

「例会」月一回開催

責任者: 担当委員会、支部長、例会委員会 原則通常例会は各委員会が担当、
企画運営 支部総会、慶祝例会、忘年例会は三役、例会委員会が担当

《2026 年度 活動方針》

長崎浦上支部 総務委員長 西岡潤二

<p>活動方針: (2026 年度県・県委員会活動方針(後日提示があります)、同友会理念(今期議案書 P11)に則って)</p> <ul style="list-style-type: none">・役員会、例会、各委員会活動のスムーズな運営の為のサポート・三役で連携して長崎浦上支部の活動の活性化促進・予算作成、収支等の適正かつ迅速な会計処理・各委員会の予算使用の促進
<p>具体的な活動: (何をするのか等)</p> <ul style="list-style-type: none">・支部総会の運営・三役会の運営(資料準備、進行等)・例会、委員会活動の会計処理、収支報告
<p>活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)</p> <ul style="list-style-type: none">・支部総会の運営、準備(4 月)・役員会の運営、準備(毎月開催)・三役会の運営(年 3 回)・次年度予算案、収支報告の作成(年度末)

《2026年度 活動方針》

長崎浦上支部 例会委員長 飛田 精一

<p>活動方針:</p> <ul style="list-style-type: none">・会員の横のつながり縦のつながりを意識し、新たな発見ができる例会を開催します・例会の質を向上し、会員が学び、自社に共有できるような例会を目指します。・例会担当委員会によるスムーズな例会運営ができるよう、例会委員会主導で三役と連携し合い、フォローを行います。・例会委員、例会担当者が楽しく学ぶ場にします。
<p>具体的な活動:(何をするのか)</p> <ul style="list-style-type: none">・グループ長のスキルを高める。・例会出席率、返信率の向上に取り組む。・webなどを活用し情報を共有する。・アンケート結果を、その後の例会に生かす。・ゲストや新入会員へのフォローを仲間づくり委員と連携して取り組む。
<p>活動計画:(いつ、誰が行なうのか)</p> <ul style="list-style-type: none">・グループ長育成を目的・に、グループごとにグループ長補佐をつくり機能させる。・役員が出欠担当会員へ連絡。出欠だけでなく近況のヒアリングにも努め、例会前日に出席者への告知を再度行う。

活動方針: (2026 年度県・県委員会活動方針(後日提示があります)、同友会理念(今期議案書 P11)に則って)

出席率・返信率の向上、女性会員の増強を継続しながら、
紹介・ゲスト参加・フォローの流れを明確にし、誰もが実践できる体制を構築します。
また、会員同士の関係性を深めることで、安心して参加できる環境を整え、
明るく元気で魅力ある支部づくりを目指します。

具体的な活動: (何をするのか等)

- ① 例会出席率・返信率向上の強化
 - ・ 例会ごとの出席声かけの徹底
 - ・ 未出席者への個別フォローの実施
 - ・ 返信しやすい案内方法の工夫
- ② 女性会員の増強
 - ・ 女性経営者・後継者への積極的な声かけ
 - ・ 女性が参加しやすい雰囲気づくりと関係構築
- ③ 仲間づくりの仕組み化
 - ・ ゲスト参加までの流れ(声かけ→参加→フォロー)の明確化
 - ・ 紹介しやすいトークやツールの共有
 - ・ 成功事例の共有と横展開
- ④ 関係性の強化
 - ・ 交流イベントの企画・実施
 - ・ 会員同士のつながりを深める機会の創出
- ⑤ フォロー体制の強化
 - ・ 新入会員の担当制フォロー
 - ・ 退会者への継続的なアプローチ
- ⑥ 委員会連携・理念浸透
 - ・ 各委員会と連携した活動推進
 - ・ 理念や活動内容の理解を深める機会づくり
 - ・ 県委員会への積極的参加

活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)

- 例会ごとの出席声かけおよびゲスト打診(毎回)
- ・ 新入会員・未出席会員のフォロー(担当制・月1回以上/委員)
 - ・ 交流イベントの開催(年2~3回/委員会) 活性化委員会都の連携
 - ・ 委員会内での進捗共有・事例共有
 - ・ 各委員会および支部事業への積極参加(随時/委員全員)

<p>活動方針:(2025年度県・県委員会活動方針、同友会理念(今期議案書 P1)に則って)</p> <ul style="list-style-type: none">・経営指針の成文化と実践を行うと共に、それに深く関わる労使見解の学び・経営者の責任についての学び・人を生かす経営4委員会での協力
<p>具体的な活動:(何をするのか等)</p> <ul style="list-style-type: none">・経営指針実践セミナーを受講の推進・企業変革プログラムの個別の勉強会(Ver2 の浸透)
<p>活動計画:(いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)</p> <ul style="list-style-type: none">・役員会や例会時に、経営指針に関する PR・経営指針に関する勉強会実施・4委員会と連携し、経営者塾を開催する
<p>2025 年度 活動報告</p> <ul style="list-style-type: none">・5 月の例会担当として、10年後のわたしというテーマで4名の方々に報告をして頂きました 魅力ある方々の報告で、盛況となりました・経営指針セミナーに支部より参加者が3名おり、1年を通して参加して頂きました

活動方針:(2026年度県・県委員会活動方針(後日提示があります)、同友会理念(今期議案書P11)に則って)

共育の学びは、今後の中小企業にとって非常に重要な取り組みであると、改めて実感しています。

具体的な活動:(何をするのか等)

2026年は、

- ・次世代リーダーズカレッジを浦上支部として継続・発展させること
- ・ドラッカーの人材活用の学びを、経営者・社員双方に広げていくことを軸に活動してまいります。

活動計画:(いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)

同友会には経営幹部や役員の方も多く在籍されています。世代や立場を超えて学び合える場づくりを継続し、「人が育つ企業づくり」に貢献してまいります。

《2026年度 活動方針》

浦上支部ダイバーシティ委員長 北川 亮

活動方針: (2026年度県・県委員会活動方針、同友会理念(今期議案書 P1)に則って)

- ・支部の担当例会の企画・運営を実施する。
- ・県の活動方針に則って特別支援学校との交流を進めていく。
- ・前年度に引き続き児童養護施設との交流・連携を青年経営者会と連携して行なっていく。

具体的な活動: (何をするのか等)

1. 特別支援学校との交流

- ・特別支援学校の実習受け入れを支部内でも呼びかけていく。
- ・上記受け入れ企業があった場合、見学会等も行う。

2. 児童養護施設との交流・連携

- ・青年経営者会が長年行っている交流イベントである、ハタアゲ大会に支部委員会として運営に参加・協力する
- ・上記以外の交流イベント(秋祭り等)にも積極的に参加する。
- ・支部ダイバーシティ委員会としても交流イベントを企画して実施する。
- ・職場体験や職場見学を実施できるよう調整していく。

活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)

1. 特別支援学校との交流

- ・6月と11月のいずれかの実習に浦上支部から1企業以上の受け入れを目指す。

2. 児童養護施設との交流・連携

- ・3月のハタアゲ大会に支部から5名以上の参加を目指す。
- ・青年経営者会と連携して、児童養護施設の子どもや卒園者への職業体験活動を進めていく。

《2026年度 活動方針》

産学イノベーション委員長 齊藤誠史

<p>活動方針: (2026年度県・県委員会活動方針(後日提示があります)、同友会理念(今期議案書P11)に則って)</p> <p>～地域に若者が溢れ、「人」「企業」「同友会」「地域」が共に輝く未来を創造する!～ 高校や大学との連携を中心に、以下4つの方針に基づき今年度活動を行います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 経営者と若者(生徒、学生)が共に学びあい、互いに「人」としての成長を目指す。(人づくり)2. 地域にある会員企業の存在意義や経営者の思いを直に伝えることで、若者から選ばれる企業づくりを目指す。(企業づくり)3. 高校、大学との積極的な交流を通じて、会員企業の魅力を学校や若者に伝えていくことで、同友会の存在価値を高める。(同友会づくり)4. 地域の若者と経営者が学び合うことで、互いの価値観や魅力を共有し、地域に若者が残る、または帰ってくるような環境をつくり、より良い地域づくりを目指す。(地域づくり)
<p>具体的な活動: (何をするのか等)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 産学イノベーション委員会の委員会の存在意義や目的及び活動内容について、会員への理解を深めてもらう。2. 浦上支部会員企業の近隣の高校、大学との連携をはかり、活動を推進する。 学生との座談会、インターンシップ、出前授業など、学生と直接触れ合える場をつくる。 先生方との座談会を開催する。3. 各支部での活動を浦上支部会員へ周知し、会員企業への理解を深め、地域を超えて参加を推進する。4. 産学イノベーション委員会の活動内容を人を生かす経営4委員会と共有する。
<p>活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 委員会内において、他支部も含めた委員会活動内容を共有し、理解を深め、役員会や例会を通じ、支部内において周知・参加呼びかけを行う。2. 支部の活動範囲においては、多くの高校、大学等が存在する。各学校にアプローチを行い、生徒、学生と会員が交流できる場を増やす。3. 現在連携を行っている高校、大学との活動の活発化と、会員への周知を積極的に行う。4. 人を生かす経営4委員会に参加し、他の委員会との活動内容を共有し、連携した活動を行う。

活動方針: (2026年度県・県委員会活動方針(後日提示があります)、同友会理念(今期議案書P11)に則って)

長期的な国際情勢の緊迫化による、原油、原材料価格の継続的な高騰をはじめ、円安進行、国内外の物流コストの上昇等外部環境の継続的な悪化が要因として、多くの企業が苦戦を強いられています。このような情勢の中、同友会の役割は益々大切になると思います。県政策委員会の活動方針に沿って活動し、長崎県、長崎市との連携を深め、中小企業が地域の主役になることを目指します。

具体的な活動: (何をするのか等)

- ・「中小企業憲章」及び「中小企業振興基本条例」に対する会員の理解促進
- ・行政との意見交換会の実施(昨年度、実施したアンケート等の活用)
- ・「中小企業振興基本条例」の制定に向けての活動を行う
- ・長崎出島支部政策委員会との連携

活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)

- ・県政策委員会への参加及び活動に協力する
- ・7月「中小企業魅力発信月間」における魅力発信事業の企画、開催
- ・景況調査の実施協力
- ・長崎市、長崎市商工会議所との意見交換会の実施(長崎出島支部との連携)
- ・委員会活動活性化の為に委員会メンバーとの意見交換会の実施

《2026年度 活動方針》

情報広報委員会 野口博子

<p>活動方針: (2026年度県・県委員会活動方針(後日提示があります)、同友会理念(今期議案書P11)に則って)</p> <p>委員会の意向に沿って同友会未入会の方にもわかりやすく価値のある情報配信をしていきたい。</p> <p>昨年の広報委員会の目標に準じて、引き続き:「広報」の役割を果たしていきたい。</p> <p>特に若年や女性会員拡充のため、会員・未会員の方とのコミュニケーションを円滑にし、信頼関係を築いていきたい。</p>
<p>具体的な活動: (何をするのか等)</p> <p>例会会場やイベント会場の様子を撮影して記録に残す。</p> <p>未入会の方々が興味を持てる情報を収集する。</p> <p>必要とされる情報を発信し、同友会の活動への理解と例会の参加をそくしていきたい。</p>
<p>活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)</p> <p>全体的な情報量を増やしていく (全員)</p> <p>月ごとに計画をたてて、全体を把握しながら委員会内の連携をとる (委員長)</p> <p>上記の内容を月末ごとに総括していく (委員長)</p>

活動方針: (県活動方針、同友会理念(今期議案書 P1)に則って)

- ・第7次ビジョン案の策定
- ・青年経営者会のクレド作成づくりサポート
- ・担当例会の企画、実施

具体的な活動: (何をするのか等)

- ・第7次ビジョンの策定を1年間かけて行います。委員会内で協議し、全体像を作り上げていきます。
- ・青年経営者会と連携してクレド作成のサポートを行います。
- ・担当例会の企画を早期に実施し、参加者増を目指します。

活動計画: (いつ、誰が行なうのか、責任者は誰なのか等)

- ・担当委員会の開催時には、積極的に参加し新ビジョン策定へ向けての意見交換を行います。
- ・青年経営者会のクレド策定会議や例会時には参加し、協議します。
- ・担当例会企画を支部委員会を実施し、計画します。

長崎県中小企業家同友会
長崎浦上支部
2026年度 予算
自:2026年 4月 1日
至:2027年 3月31日

収入の部				支出の部			
行	勘定科目	26年度予算	25年度実績	行	勘定科目	26年度予算	25年度実績
①	前期繰越金	1,052,564	1,280,077	①	前期繰越金		
②	支部運営費	1,627,200	1,380,000	②	支部運営費	80,000	80,000
③	預金利息		2,913	③	預金利息		
④	役員会費			④	役員会費	250,000	155,000
⑤	三役会費			⑤	三役会費	30,000	6,500
⑥	例会費			⑥	例会費	750,000	481,183
⑦	例会委員会費			⑦	例会委員会費	50,000	0
⑧	仲間づくり委員会費			⑧	仲間づくり委員会費	100,000	43,250
⑨	経営労働委員会費			⑨	経営労働委員会費	50,000	36,710
⑩	共育委員会費			⑩	共育委員会費	50,000	29,000
⑪	共同求人委員会			⑪	共同求人委員会	50,000	5,500
⑫	総務委員会費	80,000	80,000	⑫	総務委員会費	30,000	25,000
⑬	政策委員会費			⑬	政策委員会費	50,000	38,501
⑭	ビジョン委員会費			⑭	ビジョン委員会費	50,000	3,000
⑮	ダイバーシティ委員会費			⑮	ダイバーシティ委員会費	50,000	39,000
⑯	情報広報委員会費			⑯	情報広報委員会費	50,000	50,500
⑰	4委員会費			⑰	4委員会費	40,000	35,000
⑱	2委員会費			⑱	2委員会費		0
⑲	活性化委員会			⑲	活性化委員会	30,000	20,330
⑳	経営フォーラム準備委員会			⑳	経営フォーラム準備委員会	36,000	5,000
㉑	全国大会参加補助費			㉑	全国大会参加補助費	120,000	65,000
㉒	経営フォーラム参加補助費			㉒	経営フォーラム参加補助費		93,000
㉓	支部総会費			㉓	支部総会費	200,000	120,000
㉔	慶祝例会費			㉔	慶祝例会費	300,000	250,000
㉕	12月例会費			㉕	12月例会費	200,000	97,270
㉖	慶弔費			㉖	慶弔費	50,000	35,000
㉗	雑費			㉗	雑費	30,000	25,807
㉘	予備費			㉘	予備費	60,000	0
㉙	雑収入		49,125	㉙	雑収入		0
㉚	次期繰越金			㉚	次期繰越金	53,764	1,052,564
	合計	2,759,764	2,792,115		合計	2,759,764	2,792,115

※総務委員会の80,000円の収入は事務費補助費

※雑収入の金額は、40,000円は卒業式の御祝、9,125円は北松浦支部からの未収金の回収分です。

※⑳フォーラムキャラバン隊費用(6支部×車代3,000円×2台)

※支部総会費、慶祝例会費、12月例会費は、前年度開催会場から飲食代が上がる旨の説明があったため増額しています。

※㉔飲食代1,000円UP×約40名予定

※㉕対象者12名+飲食代1,000円UP

※㉖㉔同様飲食代1,000円UP×約40名予定